1．科目名（単位数）	ソーシャルワークⅢ　（4 単位）	3．科目番号	SNMP3357 SCMP3357 SSMP3157
2．授業担当教員	佐藤　惟		
4．授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5．開講学期	春期
6．履修条件・他科目との関係	ソーシャルワークⅠ, Ⅱの単位を修得した後に履修することが望ましい		
7．講義概要	ソーシャルワークⅢは、ソーシャルワークⅠ・ソーシャルワークⅡで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術等を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライエント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。 特に、多様な課題と支援の必要性を持つ現代社会のクライエントに、より専門的に対応、その課題等の解消と軽減に向け働きかけることのできる知識・技術としての実践理論・アプローチについて学習する。加えて、グループを用いた支援、あらゆる場面で必要とされるコーディネーションとネットワーキング、関連する社会資源の調整と開発など、クライエントへの直接的・間接的相談援助技術について総合的・包括的に学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。		
8．学習目標	下記の目標を達成することが期待される 1. ソーシャルワークの定義と「相談援助」の対象について再確認する。 2. ケースマネジメント（ケアマネジメント）についてその概要を理解する 3. グループを活用した支援について理解する。 4. コーディネーションとネットワーキング、社会資源の調整・開発について理解する。 5. ソーシャルワーク実践モデルとアプローチの概要と実践方法について理解する。 6. スーパービジョンについて理解する。 7. ケースカンファレンスについて理解する。 8. 実践事例を通じて、相談援助に必要な専門知識・技術について横断的に活用ができる。		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	授業内で提示する3つのテーマの中から1つを選んでレポートを作成してもらう。 このほか、授業内で行われる3回の確認テスト（定期試験）に取り組んでもらう。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅱ（新・社会福祉士養成講座 8)』第 3 版、中央法規、2015 年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・８つの目標を達成することができたか。 ○評定の方法 （1）平常点（授業態度・発表・発言・学習課題など）20%、 （2）課題レポート　30% （3）試験　50% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	ソーシャルワークⅢはこれから社会福祉士・社会福祉の専門職になるために必要な理論や実践方法の応用編となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成などへの積極的な取組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合もあります。		
13. オフィスアワー	授業内（初回授業）に通知します。		

14. 授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	オリエンテーション（シラバス、講義概要、成績評価についてなど）	事前学習	シラバスと教科書の「はじめに」を読む。
		事後学習	オリエンテーションの内容をまとめる。
第２回	相談援助における対象の理解（１）社会福祉援助活動の概念と定義	事前学習	教科書 pp. 1-7 を読む。
		事後学習	ソーシャルワークの概念と定義をまとめる。
第３回	相談援助における対象の理解（２）相談援助の対象をどうとらえるか	事前学習	教科書 pp. 8-20 を読む。
		事後学習	相談援助の対象のとらえ方をまとめる。
第４回	相談援助における対象の理解（３）新たなソーシャルワークの展開と社会福祉士認定制度；映像視聴	事前学習	教科書 pp. 21-25 を読む。
		事後学習	映像を視聴して考えた事をまとめる。
第５回	ケースマネジメント（１）概要、過程、アセスメント	事前学習	教科書 pp. 27-44 を読む。
		事後学習	ケースマネジメントの過程をまとめる。
第６回	ケースマネジメント（２）ケアプランの作成と実施	事前学習	教科書 pp. 45-58 を読む。
		事後学習	ケアプランについてまとめる。
第７回	グループを活用した相談援助（１）グループワークの意義、展開過程	事前学習	教科書 pp. 59-71 を読む。
		事後学習	グループワークの展開過程をまとめる。
第８回	グループを活用した相談援助（２）自助グループとは；映像視聴	事前学習	教科書 pp. 72-80 を読む。
		事後学習	映像を視聴して考えた事をまとめる。
第９回	コーディネーションとネットワーキング（１）コーディネーションについて	事前学習	教科書 pp. 81-104 を読む。
		事後学習	コーディネーションの目的と方法をまとめる。
第１０回	コーディネーションとネットワーキング（２）ネットワーキングについて；確認テスト①	事前学習	第 1 回～第 10 回の内容を復習する。
		事後学習	ネットワーキングについてまとめる。 確認テスト①を期限内に提出する。

第１１回	社会資源の活用・調整・開発（１）ソーシャルワーク実践と社会資源	事前学習	教科書 pp. 105-121 を読む。
		事後学習	社会資源についてまとめる。
第１２回	社会資源の活用・調整・開発（２）ソーシャルアクションによるシステムづくり；映像視聴	事前学習	教科書 pp. 122-126 を読む。
		事後学習	映像を視聴して考えた事をまとめる。
第１３回	さまざまな実践モデルとアプローチ（１）実践モデルとその意味	事前学習	教科書 pp. 127-136 を読む。
		事後学習	実践モデルの種類についてまとめる。
第１４回	さまざまな実践モデルとアプローチ（２）医学モデルと生活モデル、ストレングスモデル	事前学習	教科書 pp. 137-148 を読む。
		事後学習	医学モデルと生活モデルについてまとめる。
第１５回	さまざまな実践モデルとアプローチ（３）心理社会、機能的、問題解決アプローチ	事前学習	教科書 pp. 149-158 を読む。
		事後学習	左記 3 つのアプローチについてまとめる。
第１６回	さまざまな実践モデルとアプローチ（４）課題中心、危機介入、行動変容アプローチ；映像視聴	事前学習	教科書 pp. 159-171 を読む。
		事後学習	映像を視聴して考えた事をまとめる。
第１７回	さまざまな実践モデルとアプローチ（５）エンパワメント、ナラティブ、認知アプローチ	事前学習	教科書 pp. 172-185 を読む。
		事後学習	左記 3 つのアプローチについてまとめる。
第１８回	さまざまな実践モデルとアプローチ（６）その他のアプローチ、アプローチをめぐる課題	事前学習	教科書 pp. 186-197 を読む。
		事後学習	アプローチをめぐる課題についてまとめる。
第１９回	スーパービジョンとコンサルテーション（１）スーパービジョンの目的と方法	事前学習	教科書 pp. 199-213 を読む。
		事後学習	スーパービジョンについてまとめる。
第２０回	スーパービジョンとコンサルテーション（２）コンサルテーションの目的と方法；確認テスト②	事前学習	第 11 回～第 20 回の内容を復する。
		事後学習	確認テスト②を期限内に提出する。
第２１回	ケースカンファレンスの技術（１）概要	事前学習	教科書 pp. 215-226 を読む。
		事後学習	ケースカンファレンスの概要をまとめる。
第２２回	ケースカンファレンスの技術（２）過程、評価	事前学習	教科書 pp. 227-239 を読む。
		事後学習	ケースカンファレンスの過程をまとめる。
第２３回	相談援助における個人情報の保護（１）個人情報保護の考え方	事前学習	教科書 pp. 241-248 を読む。
		事後学習	個人情報保護の考え方をまとめる。
第２４回	相談援助における個人情報の保護（２）個人情報保護の制度と課題；映像視聴	事前学習	教科書 pp. 248-252 を読む。
		事後学習	映像を視聴して考えた事をまとめる。
第２５回	情報通信技術（ICT）の活用（１）ICT と福祉情報	事前学習	教科書 pp. 253-258 を読む。
		事後学習	ICT と福祉情報の関係についてまとめる。
第２６回	情報通信技術（ICT）の活用（２）福祉業界における ICT の活用状況と留意点	事前学習	教科書 pp. 258-265 を読む。
		事後学習	福祉業界での ICT 活用についてまとめる。
第２７回	事例研究・事例分析（１）事例研究とは	事前学習	教科書 pp. 267-283 を読む。
		事後学習	事例研究についてまとめる。
第２８回	事例研究・事例分析（２）事例分析とは	事前学習	教科書 pp. 284-291 を読む。
		事後学習	事例分析についてまとめる。
第２９回	相談援助の実際	事前学習	教科書 pp. 293-318 を読む。
		事後学習	実際の事例を 1 つ取り上げ復習する。
第３０回	まとめ；確認テスト③	事前学習	第 21 回～第 30 回の内容を復習する。
		事後学習	確認テスト③を期限内に提出する。